

企業概要



美保野グリーン牧場株式会社

代表取締役社長 佐々木 竜児

(所在地：青森県八戸市)



当社について

当社は青森県八戸市に本社を置き、1966年岩手県種市町で創業し、食肉加工と食肉を販売する企業です。

お肉を通じて「食」の総合プロデュースを心掛け、生産から加工、卸、小売と自社展開しているブランド肉をはじめ、良質なお肉の卸業者として、50年以上に亘りご家庭に美味しい食材をお届けして参りました。

お肉のプロとして培ってきた信頼と実績でお客様が安心して、笑顔になれる食材を提供し続け、持続可能な事業展開により、地域経済活性化に貢献しております。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	水使用量削減や再生水利用、フードロスの削減
従業員の働きがい	従業員の体の健康保持、コミュニケーションの促進、障害者雇用の推進
地域社会への貢献	森林や山の自然の保護活動、産学官連携、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、消費者・顧客課題解決

美保野グリーン牧場株式会社 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2025年4月4日
美保野グリーン牧場株式会社
代表取締役社長 佐々木 竜児

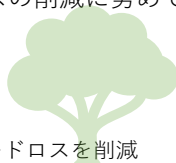
マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

食肉の加工を通じ食材の無駄を無くし、フードロスの削減に努めて参ります。

▼目標・取り組み内容

- ・地下水の利用による水道水利用の削減
- ・スライス時に発生する食肉の不定形部分を減少させフードロスを削減

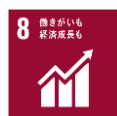


従業員の働きがい

すべての従業員が健康で、いきいきと働き、活躍ができる働き甲斐のある職場づくりに努めて参ります。

▼目標・取り組み内容

- ・年一回の定期健康診断実施
- ・定期的なイベント活用
- ・職安と情報交換を行い、障がい者雇用の実現を図る

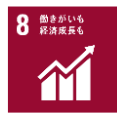


地域社会への貢献

産学官の連携を図り、畜産業の発展に寄与し、食肉を通じ地域の食文化を豊かにします。

▼目標・取り組み内容

- ・敷地内山林を整備し自然を有効活用
- ・北里大学 獣医学部との連携で、国産羊の人工授精の研究支援
- ・階上ラム（国産）を八戸市内の飲食店へ提供の継続



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を構築し、社員全員にて法令順守を徹底します。

▼目標・取り組み内容

- ・定期的なコンプライアンス研修を実施し、社内周知を図る
- ・内部通報制度の導入



北日本銀行

【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」】